

## リーディングDXスクール事業 【実践事例】

久喜市立鷲宮西中学校

## 【取組内容①】 Googleチャット・Google Jamboardを用いた他者参照、複線型授業

## ■ 1年数学「比例・反比例」

- ①全体で確認(表にする方法、式にする方法)※ここは全体共有
- ②グラフの形はどうか思考する ※他者参照。自由進捗学習を行う。

◎グラフの形を思考する上で、ツールを用いて思考し、他者と比較しながら自分の知識へと変換していく。

## ■ 適応問題にチャレンジ。難易度はそれぞれで設定。(Jamboard)

◎学び方は生徒が選択する。それぞれに合ったスタイルで、個別最適な学びを促す。

## ■ 考えられる成果

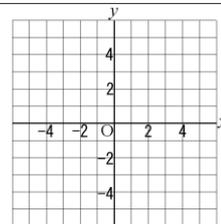
- ①他者参照を通し、知識を自分のものとして獲得できる。
- ②データの整理をする作業効率の向上  
(得た数値をグラフ化する時間を確保でき、思考し考えを深めることができる。)

## 4章 変化と対応 part12 ■反比例のグラフ (P.132~136)

学習課題(ねらい): 反比例のグラフの形を考えてみよう

考えよう

みなさんはスキー教室へ行きます。  
男子10人を部屋割りする場合、  
部屋の数を $x$ 部屋、人数を $y$ 人  
として、どう分けるとよいですか?  
表を作ってグラフに表してみま  
しょう。



# リーディングDXスクール事業 【実践事例】

久喜市立鷲宮西中学校

## 【取組内容①】 Googleチャット・Jamboardを用いた他者参照、複線型授業

### ■ 3年数学「相似の証明」

- ① 相似な図形の発見 ※ここは全体共有
- ② 何を根拠に、結論を明らかにしていくか  
※チャットにて他者参照。自由進度学習を行う。

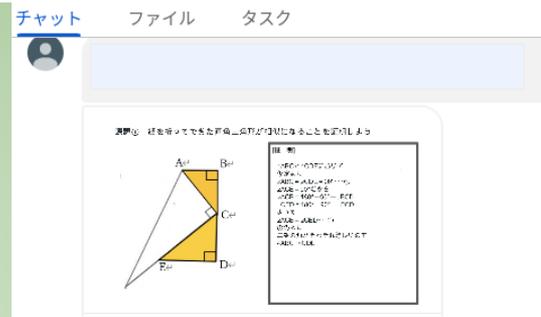
◎説明は短く、思考する時間を多く確保し、生徒たちに個別や他者と協働して解決するのか、必要に応じ選択できるようにする

### ■ 適応問題にチャレンジ。難易度はそれぞれで設定。(Jamboard)

◎生徒が自分で課題を選び、一人一人が選択・決定をする学習へつなげる。(個別最適な課題)

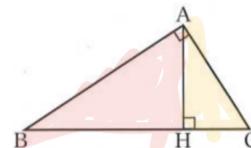
### ■ 考えられる成果

- ① 学習効率の向上  
(証明するために思考した内容をすぐ文章化できる)
- ② 他者参照による証明の手順の定着  
(他者から学び、自分の知識として生かせる)



問題①  $\triangle ABC \sim \triangle CAH$ が相似であることを証明しよう。

→ 終わった人は問題②へ



[証明]

$\triangle ABH$ と $\triangle CAH$   
 $\angle AHB = \angle CHA = 90^\circ \dots ①$   
 $90^\circ - \angle BAH = \angle CAH \dots ②$   
 $90^\circ - \angle ACH = \angle CAH \dots ③$   
 ②、③より、  
 $\angle BAH = \angle ACH \dots ④$   
 ①、④より、  
 2組の角がそれぞれ等しいので、  
 $\triangle ABH \sim \triangle CAH$ である。